2026年11月12日

各　位

会 社 名　株式会社 Waqoo
代表者名　代表取締役社長　佐俣　文平
（コード番号：4937　東証グロース）
問合せ先　執行役員コーポレート本部長　古谷　恵輔
（TEL.03-6805-4600）

2026年９月期 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年８月７日に公表いたしました2026年９月期 通期連結業績予想（2025年10月１日～2026年９月30日）と、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年９月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	2,750	560	550	410	115.57
今回実績（Ｂ）	2,990	691	684	752	212.07
増減額（Ｂ－Ａ）	240	131	134	342	―
増減率（％）	8.7	23.5	24.4	83.5	―
（参考）前期連結実績（2025年９月期）	1,960	150	152	44	12.32

２．差異の理由

当連結会計年度は、SBCメディカルグループとの連携による収益貢献が下半期にかけて本格化し、二度にわたり上方修正した業績予想をさらに上回る着地となりました。

売上高につきましては、メディカルサポート事業においてSBCメディカルグループとの取引拡大等が第４四半期も継続し、同事業の通期売上高が2,012百万円（前期比101.4%増）と大きく伸長したことから、前回発表予想を240百万円上回りました。

営業利益および経常利益につきましては、上記の増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益率が前回想定の20.4%から23.1%へ上昇し、前回発表予想をそれぞれ131百万円、134百万円

上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、当社グループの業績動向等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額（益）135 百万円を計上したことにより、前回発表予想を 342 百万円上回りました。なお、本要因は当連結会計年度に限ったものであるため、2027 年９月期は営業利益および経常利益の増益を見込む一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、その反動により減少を見込んでおります。

2027 年９月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「2026 年９月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上